

年間教授計画 2026年度 (4月～2月)

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間	単位数
AIエンジニア I	クラス: 2年 A組 学科: 情報テクノロジー科 コース: AIエンジニア	山本(三)	ディープラーニングG検定問題集, AIリテラシー講座[Web教材]	4 時間/週	120 時間	8 単位

授業概要 前期ではAIの基礎を講義で学び、学習成果として「AI検定」「G検定」の合格を目指す。後期では、G検定未合格者は引き続きG検定の内容を学びG検定合格を目指す。なお、G検定合格者は前期で学んだAIの基礎をもとにAI実装について学ぶ。

最終到達目標 AIの基本的な知識を身に着ける(達成目標はAI検定(サーティファイ)、G検定の合格)、及び、人工知能プログラミングの基礎を習得する。

月	週	単元	内容および授業方法				
前期 (4月～9月)	1	AI検定対策	1. AI概論(講義・演習) (★印は成績評価方法説明) ★AI検定合格で前後期で30点加算(AI検定合格・G検定合格だと合算し評価100点になる)				
	2		2. 機械学習(講義・演習)				
	3		3. 深層学習(講義・演習)				
	4		4. 基礎数学(講義・演習)				
	5		5. 法規・倫理(講義・演習)				
	6						
	7	G検定対策	第0章 G検定の概要と学習方法(講義・演習)				
	8		第1章 人工知能(AI)の定義と技術動向・研究における問題(講義・演習) ★G検定まとめ課題の出来具合で評価(30%) [G検定合格者は免除]				
	9						
	10		第2章 機械学習(講義・演習)				
	11						
	12						
	13	まとめ、G検定小テスト ※小テストは全員受験	・まとめ、G検定小テスト (授業内の講義していない時間帯で、前期(4月～前期学期末迄)の都合の良い時間に受験可能) ★G検定小テストの点数で評価(70%) [G検定合格者は免除]				
	14						
	15						
後期 (10月～2月)	1	G検定対策 ※G検定合格者は、 AIプログラムを実習する	第3章 ディープラーニング(講義・演習) ★G検定未合格者のみ:G検定小テストで評価(100%) [G検定合格者は免除]				
	2						
	3						
	4		第4章 ディープラーニングの研究分野(講義・演習)				
	5						
	6						
	7		第5章 AI・データ活用の社会実装(講義・演習)				
	8						
	9		第6章 法規制・統計学(講義・演習)				
	10						
	11		第7章 数学・統計学(講義・演習)				
	12						
	13	まとめ、G検定小テスト ※前後期でG検定に 合格した学生は、 小テスト受験免除	★G検定前期で合格が判明した場合、前後期とも90点保障 G検定後期で合格が判明した場合、後期のみ90点保障(前期の成績には反映できません) ★G検定、AI検定、両方合格の場合、100点とします。				
	14						
	15						
成績 評価 方法	項目 ※1	授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他 (AI 検 定)
	割合	前期		70%	30%		合格で30点加算
		後期		100%			合格で30点加算
備考 ※2		AI検定合格:前後期を各30点加算, G検定合格:前後期90点保障(後期に合格の場合は後期のみ適用)					

※1 授業内試験:期間内の総まとめの試験/小テスト:単元ごとのテスト等/課題内容:課題提出および課題の出来具合
その他:()に具体的内容を記載。(例)外部実習評価

※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たったの留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。